

新・医療の窓 連載100回記念 早水公園クリニックの先生方をご紹介します

2014年4月から連載がスタートした「新・医療の窓」が、8月号で100回を迎えました。10年以上もの間、都城圏域に住む読者の健康や医療に関するさまざまな悩みや質問に、真摯に答え続けていただいています。また、新型コロナウイルス流行初期の非常時には、多くの医療的知識を教えてください、みなさんの命を守るアドバイスをたくさんいただきました。今回は連載100回を記念して、みなさまの病気を診て健康を守り続ける「早水公園クリニック」の山内院長をはじめとする先生の医療に対する思いや、医師を目指すきっかけ、趣味など、さまざまなことを伺ってきました！

- 質問内容**
- ① 医師を目指した理由を教えてください。
 - ② 得意な診療科目を教えてください。
 - ③ 患者さんに接する際に、気を付けていることを教えてください。
 - ④ 外来て嬉しかったこと、やりがいを感じたことを教えてください。
 - ⑤ 趣味



山内 明 院長

院長 ごあいさつ

都城市出身で、五十市中学校を経て都城西高等学校を卒業。中学時代に祖父が癌を患い「医師になつて治したい」という思いで志しました。大学や大きな病院で医師として研鑽を積む間に、人間の体は一つでさまざまな病気が病態で繋がりがあつていて、総合的に患者さんがわかり、総合的に治療できる医師を目指して勉強しました。

今現在、乳幼児からお年寄りまで幅広く医療を提供でき、気軽にさまざまなことを相談できるクリニックを理想として頑張っています。その中で、診断に必要なCTを導入、放射線専門医と連携しての確かな診断を目指しています。また一部の専門性の高い疾患も診られるよう、非常勤の先生にお願いし、幅広くそれでいて気軽に受診できるクリニックを、今後も目標としていきます。



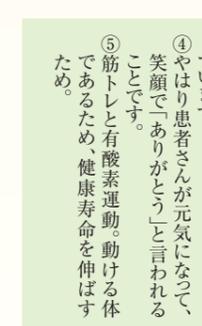
岩田 雅史 先生
(医学博士)
隔週金・土曜日勤務

- ① 10歳頃に親でいた振り返れば自分がいるというドラマで、医師を意識しはじめました。
- ② 内科外科問わず、消化器科、腫瘍科です。
- ③ 番つらい症状、困っていることは何かをしっかりと聞き出すことを心がけています。
- ④ 患者さんから「すっかりよくなりました」との言葉をいただいた時です。
- ⑤ 小中学生の我が子のバス観戦見かけたら声を掛けてください！



野村 信介 副院長
(医学博士)

- ① 高1の時父が脳梗塞で倒れ、半年間病院に入院しました。父の顔がなくなり、体も浮腫んでおしっこも出なくなり、もうダメと思った時に、先生方がいろいろ文献を調べて治療にあたりくれました。辛い命を取り留めたので、この医師になりたいと思いました。
- ② 消化器内科。特に上下部内視鏡検査と、ERPCです。
- ③ 自分が患者さんの立場だったら、自分の家族を診察したらと考え、突き放すような言い方や、否定的な言い方はしないように心がけています。
- ④ 「ありがたう」と言いました。今日の検査は苦しくなかったです」と言われた時や「先生に出会えてよかった」と言われた時です。
- ⑤ 沖縄の三線で演奏する、琉球古典音楽にはまっています。教師資格も持っています。



大久保 和樹 先生
(医学博士)
毎週土曜日勤務

- ① 祖父も医師で小さい頃から、いろいろ話を聞いていました。また、小学生の時に近くに「宮崎医科大学」ができた、姉の家庭教師をしてくださった医大生という話を伺ったことがきっかけです。
- ② 一般内科・内視鏡検査・IVR・画像診断
- ③ 患者さんが自身の症状について話しやすい環境を作るために、コミュニケーションを大事にしています。そのため、診療時間が長くなります。また、職員とのコミュニケーションや協調性も大事にしています。
- ④ やはり患者さんが元気になること、笑顔で「ありがたう」と言われることです。
- ⑤ 筋トレと有酸素運動。動ける体であるため、健康寿命を伸ばすため。



梅村 好郎 先生
毎週土曜日・午後勤務

- ① 人の役に立つ仕事がしたいと思い志しました。
- ② 腎泌尿器科・在宅診療
- ③ 自分が患者さんの立場だったらこうして欲しいのではないかと、このことをいつも考えています。
- ④ 私に診察してもらったよかったです。
- ⑤ 釣り・ガーデニング



矢野間 紗希 先生
隔週土曜日勤務

- ① 父の勧めがきっかけで目指しました。
- ② 慢性閉塞性肺疾患(COPD)です。診療中は1回でも患者さんの笑顔が見られるように心がけています。笑顔が見られた時や、ありがたうと言っていたいた時が嬉しいです。
- ③ アニメや映画を観ることも。
- ④ 医療は日々発展し、さまざまな治療の選択肢が増えてきた分野もあります。それらを踏まえつつ、患者さんの生活に根ざした診療ができればと思っています。
- ⑤ ホットヨガ、大河ドラマ鑑賞



佐藤 有生 先生
毎週水曜日・午前勤務

- ① 子どもが好きで、小児科医になりました。
- ② 肺がんやCOPDなどの慢性呼吸器疾患の患者さんの人生に寄り添えることに生きがいを感じています。
- ③ ホットヨガ、大河ドラマ鑑賞

北村 環子 先生
隔週土曜日勤務

新・医療の窓 早水公園クリニック便り 100

① 高齢者の熱中症対策は？

熱中症死亡者の約8割が高齢者と言われています。その中の9割がエアコンを使用していなかったとのこと。エアコンは健康に悪いといった思い込みで、十分な熱中症対策ができていないことが多いです。高齢者の特徴としては、元々体内の水分量が不足しがちですので、日頃から十分な水分をとっておくことが大事です。また、暑さに対する感覚が鈍くなっています。若い人であれば暑いと感じると思いますが、その反応が高齢者は低下しています。また暑い時に、汗をかいて体温を下げる調節機能も低下しています。ですから、体に熱がたまりやすくなります。今年の夏も、かなり暑いようです。高齢者に限らず、現代病とも言われる熱中症を予防して、夏をのりきりしましょう。

② 健康診断で血圧が高めと言われたのですが、気をつけるべきことを教えてください。

高血圧は生活習慣病のひとつに数えられ、生活習慣の改善で、ある程度は予防することができます。まずは、減塩です。1日の目標食塩摂取量は6〜7・5g未満

③ 花粉皮膚炎について教えてください。

花粉皮膚炎とは、花粉に触れた皮膚が炎症をおこし、赤みやかゆみといった症状がでることです。皮膚には、バリア機能がありますが、乾燥した皮膚などは皮膚炎をおこしやすいと言われています。特に、皮膚の露出部分である首回りや目などに症状が出やすいです。予防としては、第一に保湿です。特にアトピー性皮膚炎の方や乾燥肌のの方は、日頃から保湿で症状悪化を防いでくれます。



早水公園クリニック 専門外来

特徴1 発熱外来
新型コロナウイルスやインフルエンザ診断、長引く発熱などについても随時、診察・検査を行います。※来院前にお電話ください。

特徴2 呼吸器内科
喘息や閉塞性肺疾患、肺炎、睡眠時無呼吸症候群など、各種呼吸器の病気を治療します。

特徴3 脳神経内科(神経内科)
頭痛、てんかん、めまい、認知症、脳卒中などに加えて、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性、多発性硬化症、重症筋無力症などの診療を専門としています。

特徴4 内視鏡部門
消化器系癌の治療の第一歩は、まず早期発見。そのため、内視鏡検査を気軽に受けられる施設を目指し、最新式の胃・大腸内視鏡を導入しています。

特徴5 最新式CT
見落としを防ぎ、正確性を増すために、専門ドクターによる撮影を導入。ダブルチェックを行います。

排尿・排便 外来スタート
要予約
腎泌尿器科医による尿のトラブル、消化器科医による下痢・便秘外来となります。

AGA(男性頭髪薄毛) 男性更年期 外来スタート
毎週土曜日
お気軽にご相談ください



早水公園クリニック TEL 0986-36-6117

都城市早水町 4503-16 HP <http://hayamizu-park-clinic.com>

診療科目 内科・小児科・外科・消化器内科・アレルギー科
専門外来(要予約) 内視鏡センター・脳神経内科・呼吸器内科

Instagramはじめました!

BIG OPUS15 ココ 早水公園
ショッピングセンター 都城